

第1回定例会
5月議会

市議会の新体制決まる

議長に国出議員、副議長に石井議員を選出

令和7年第1回定例会5月議会が5月14日に開かれました。議長、副議長をはじめ、各常任委員会などの構成が決まり、市議会の新しい体制がスタートしました。また、監査委員選任の議案2件に同意、市長専決処分分の報告5件を了承しました。



新議長のもとで行われた副議長選挙

5月14日に開かれた本会議では、議長選挙と副議長選挙を行いました。投票の結果、議長には、国出拓志議員(公明党)、副議長には、石井宏法議員(自由民主党明石)を選出しました。

また、議員の中から選任される2人の監査委員には、林丸美議員(明石かがやきネット)と中川夏望議員(市民の会)を選任することに同意しました。

厚生、生活文化、建設企業の各常任委員会、議会運営委員会の委員長、副委員長および委員を選任しました。(新しい委員会の構成は2面に掲載)

安心して暮らし続けられるまちづくりを



議長
国出 拓志

在職5期。副議長、監査委員、文教厚生常任委員長、建設企業常任委員長など歴任。68歳



副議長
石井 宏法

在職2期。監査委員、総務常任委員長、議会運営副委員長など歴任。43歳

このたび、私たちは議長ならびに副議長に就任いたしました。その使命と職責の重さに身の引き締まる思いでございます。

現在の社会を取り巻く状況は、長期化するエネルギー価格の上昇や物価高騰などが市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしています。そのような中、デジタル化や脱炭素化の推進、さらには頻発化、激甚化する大規模な自然災害への対応を行っていかなければなりません。そのため、これら多様な変化や新たな課題に対し、スピード感を持って、確実に対応する市政運営が求められています。

今後、新庁舎建設や新ごみ処理施設の整備、公共施設の老朽化対策、道路や下水道の再整備など、多額の財源を必要とする課題が山積しておりますが、限られた財源を効果的・効率的に活用し、市民の皆さまがこれからも安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組んでまいります。

二元代表制の一翼を担う市議会として、議会の役割と責任をしっかりと果たすべく高い使命感を持って皆さまの信頼と期待に応えられる議会運営に取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

明石ケーブルテレビ

市議会アワー

11ch たこチャンネル
717ch ミルルチャンネル

「新議長、副議長、委員長に聞く」

国出議長と石井副議長、4つの常任委員会と議会運営委員会の委員長が今後取り組むべき課題や抱負を語ります。

放送日時
6月9日(月)～6月15日(日)
午後8時～8時30分



委員長および委員を選任しました。(新しい委員会の構成は2面に掲載) 今回の本会議では、これら議会役員選任のほか、訴えの提起専決処分分の報告や損害賠償額の決定につき市長専決処分を行った報告5件を了承しました。

監査委員

林 丸美



在職2期。生活文化常任委員長、建設企業常任副委員長など歴任。49歳

監査委員

中川 夏望



在職1期。議会運営委員、総務常任委員を歴任。43歳

